

ご理解いただくための参考資料

平成 29 年 9 月 6 日

長崎市議会議長

野口 達也 殿

養生所・医学所・分析窮理所遺跡の保存を
求める佐古・仁田地区有志の会

広馬場商店街 高橋 正行

南町自治会役員 永石 光浩

湊町自治会役員 三上 政彦

前オランダライデン大学教授

ハルメン・ボイケルス

養生所・医学所・分析窮理所遺跡の完全保存を求める

陳情書

養生所・医学所・分析窮理所遺跡の保存と仁田佐古小学校建設を十全な形で両立して促進するのを目的として設立した佐古・仁田地区有志の会は、養生所・医学所・分析窮理所遺跡の保存が長崎市民のレベルを超え、国際的な問題であると認識するに至りました。明治天皇のようにオランダの日本の近代化への貢献に深い感謝の念を持ち、日蘭友好交流の象徴であり、オランダの日本近代化への貢献の証である遺跡を保存して、日本国民とオランダ王国民との厚誼を末永く続けなければなりません。

長崎市議会におかれましては、仁田佐古小学校建設予算案をいったん保留し、現時点での仁田佐古小学校校区の各自治会など周辺住民の民意を確かめられることをお願い申し上げます。会の要望事項は下記の通りです。

記

- 1) 旧佐古小学校地に仁田佐古小学校を建設することを取り止め、養生所・医学所・分析窮理所の遺跡と長崎医学校時代の石垣等をそのまま完全に保存すること。
- 2) 遺跡の調査は各分野の専門家からなる指導調査委員会の指導の下に行い、見つかった価値ある遺跡を国の文化財として登録し、その後指定の手続きをとること。
- 3) 仁田佐古小学校の新校舎は旧仁田小学校地に建設していただくこと。

幕末の対外危機に対応して日本とオランダ両国によってこの長崎の地で実施された海軍伝習は、たんに海軍の設立にとどまりません。ハルデスにより長崎製鉄所が、ポンペにより養生所・医学所が設立され、近代科学技術と医学が組織的に導入されて日本の産業革命と医療革命が始まりました、長年にわたる日蘭交流と海軍伝習があればこそ、明治維新後の近代化への革命が実現したのです。

小島佐古の丘に1861年9月にポンペは日本最初の近代的西洋式病院、養生所と医学所を設立し、西洋式近代医学教育を定着させ、侍と町人、日本人と西洋人の別なく平等に診療し、封建社会に育った弟子たちに衝撃を与えました。養生所・医学所は長崎大学医学部と日本の近代医療の源流であります。

ポンペの跡を継いだボードインは優れた練達の教師で、最新の臓器別の医学を教えました。自然科学を教えるための分析窮理所を設立、ハラタマを招聘し、自然科学を学んだ後医学を学ぶ本格的な医学校とし、精得館と改名しました。明治維新後ボードインは大坂に医学校を、ハラタマは舎蜜局(セイミは化学)を設立しています。その後日本各所でオランダ人教師により医学校が設立されました。

明治天皇は明治三年十月、帰国前のボードインに教育界で初めて勅語を下され、奉答を許しておられます。さらに小島佐古の丘の大徳寺でアメリカ憲法や聖書を大隈重信、副島種臣、相良知安に教え、明治維新後大学南校(外国語、東京大学文系の前身)の教頭となったフルベッキ(オランダから米国に移住)は二度も勅語を賜っています。明治天皇はボードインやフルベッキの日本の近代化への貢献を嘉し、深い感謝の思いを表わされたのです。この栄誉は養生所・医学所・分析窮理所や大徳寺・致遠館での日蘭の学問交流の賜物であります。

相良知安はボードインの弟子であり精得館頭取でした。明治維新政府の医学校取調御用掛次いで大学校設立掛となり大学東校(東京大学医学部の前身)を設立、ドイツ医学を導入し、大学南校の教頭にフルベッキを迎えました。初代医務局長の時、オランダの医療法を参考に医制畧則を作成しました。長崎医学校長であった長与専齋が欧米視察後、医務局長となり相良の案を参考にして医制を施行し、公衆衛生行政が東アジアの諸国に先んじて行われるようになりました。

近代教育、公衆衛生行政と製鉄所を初め多くの産業の近代化にオランダ人が貢献できた事は、日本をよく知るオランダ人にとり大いなる誇りであります。

幕末から明治維新の長崎の日蘭交流史を紐解くと、養生所・医学所・分析窮理所の遺跡はオランダ人が日本の近代化に貢献した証であり、長年にわたる日蘭友好交流の象徴であり、鎖国時代の出島と同等の価値がある事がわかります。

さらにオランダ人によって最初に建てられた建築物の遺跡であり、ジャワ医学校では養生所のような医学校附属教育病院は建てられなかったことを思えば、オランダにとり、東アジアにおいてかけがえのない遺跡です。

一方生徒の減少により佐古小学校と仁田小学校の統合が必要となり、地域の

関係者で6年間にわたり、学校の位置、学校名、校歌、通学路など論議してきました。2016年4月、佐古小学校（明治39年開校、卒業生113,387名）と仁田小学校（明治35年開校、卒業生103,641名）が統合され、仁田小199名、佐古小76名、2名合併時編入の合計277名で仁田佐古小学校はスタートしました。

長崎市はまず小学校建設ありきでした。佐古小学校の校歌に医学発祥の地や大楠のことがあっても、議論となることはありませんでした。医学所・分析窮理所の発掘現場では専門家の指導もなく遺跡発掘にあるまじき重機がいつも稼働し、神が宿る神木として卒業生、在校生、地域の人々に大切にされてきた樹齢百年以上の大楠が誰に知らせることもなく伐採されていました。

昨年12月6日、養生所を考える会の二度目目の陳情の際明らかになったのは、耐震性建設物と遺構は共存できないこと、国の登録史跡や指定史跡となれば小学校は建てられないことでした。昨年12月8日、市文化財審議会がまだ医学所・分析窮理所の調査が行われていないので結論を出さなかったにもかかわらず昨年12月28日、都市経営会議で小島養生所跡を長崎市指定文化財とする方針を決め、本年4月、市文化財審議会が追認したのです。

旧仁田小学校地に学校を建設し、旧佐古小学校地の遺跡群を残すべきという思いを、養生所遺跡発見後、長崎大学・同医学部・長崎県医師会・長崎市医師会、養生所を考える会、九州考古学会、日本医史学会・洋学史学会と長崎の自然と文化を守る会が要請文の中で強く或いは柔和に表明しています。

養生所・医学所・分析窮理所の遺跡の重要性がよく理解されつつある今、佐古仁田小学校地区で署名を集めれば、必ずや小学校建設は旧仁田小学校地で行い、旧佐古小学校地の文化財は保存し残すことになるでしょう。小学生の多数を占める仁田小学校の地を長崎市が選んでいれば6年もの歳月は要しなかったでしょう。まず道路建設中心の都市計画ありきで、長崎市が佐古小学校地に今なおこだわり、ポンペの祖父をはじめとする家族が住むライデン市との姉妹都市提携議案とともに仁田佐古小学校建設予算案が市議会に提出されました。まさにオランダと右で握手し、左で平手打ちをくらわす行為です。

長崎市の仁田佐古小学校を旧佐古小学校地に建設する根拠は佐古小学校と仁田小学校の校区自治会の同意でした。市議会におかれましては仁田佐古小学校建設予算案の承認をいったん保留され、現時点での佐古仁田地区をはじめ周辺住民の民意を確かめられんことを要望します。養生所等の遺跡保存は国際的問題です。国際都市長崎にふさわしい決断を心よりお願い申し上げます。

小島佐古の丘は、江戸時代、眼下に唐人屋敷、新地蔵、出島、丸山があり、湊に浮かぶ蘭船、唐船を見渡せる日本随一の景勝の地でした。湊長崎の原風景として残し、大楠が再び芽吹き、地域の避難所や子供たちの運動場として使用され、国の登録・指定史跡へ向けての手続きを踏まれんことを願ってやみません。